

旭市国土強靱化地域計画の進捗状況について

1. 計画の概要

東日本大震災後、平成24年1月に策定した「旭市復興計画」に基づき、災害に強い地域づくりを1歩進め、事前防災及び減災の考え方のもと、どのような災害時においても、まず人命が保護され、たとえ被害が発生しても、いち早く復旧・復興が進む「強さとしなやかさ」を備えた旭市を作るため、平成26年度に旭市国土強靱化地域計画を策定しました。

令和2年度からは、第2期旭市総合戦略と旭市国土強靱化地域計画を一体化させ、本市のまちづくりの最上位の指針としています。

2. 進捗管理の方法

本市の地域特性を踏まえた27項目の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」を回避する観点から設定した、27項目の施策群の毎年度の進捗状況について、77項目の重要業績指標（KPI）により把握しています。

27項目の施策群のうち、12項目を重点化項目として、早期達成・目標の高度化を含め、特に取り組みの推進に努めています。

○主な「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」

- ・地震による建物倒壊や火災発生による多数の死傷者の発生
- ・広域にわたる大規模津波の発生及び河川等開口部からの津波流入による多数の死者の発生
- ・避難路における通行不能
- ・旭中央病院の医療機能の麻痺
- ・被災地域における疫病・感染症等の大規模発生

○主な「重要業績指標（KPI）」

- ・住宅用火災警報器の設置率（条例適合率）
- ・河川開口部の水門整備（市内10箇所）
- ・道路ストックの計画的な維持管理
- ・旭中央病院の基幹災害拠点病院としての機能維持【業務継続計画（BCP）の策定と適宜見直し】
- ・消毒液やビニール手袋等の衛生用品の計画的な備蓄

3. 令和2年度の進捗状況

重要業績指標（KPI）の達成状況（※詳細は「参考1」参照）

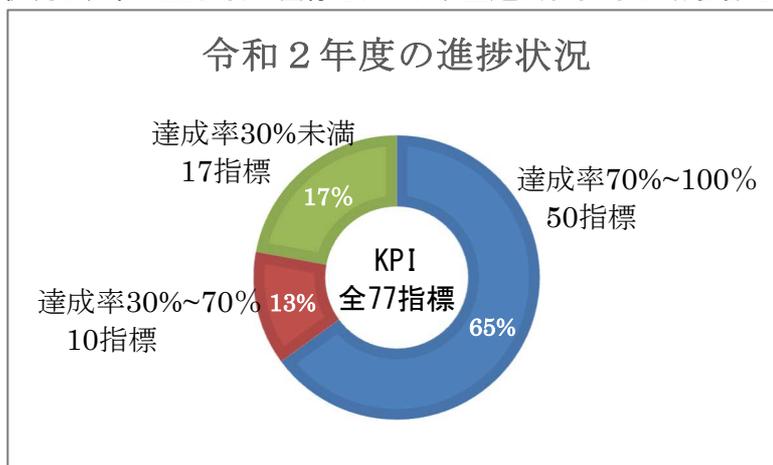
・各KPIの目標値に対する達成率の平均は70.0%でした。

・個々のKPIの進捗状況については、各KPIで大きなバラつきがあります。

KPI番号36「銚子連絡道の整備」やKPI番号39「清滝バイパスの整備」などの建設事業は、供用開始まで期間を要するため、現時点では達成率0%となっています。KPI番号11「消防団員の訓練参加率」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訓練が中止となり、達成率が0%となっている指標もあります。

一方で、KPI番号15「河川河口部の水門整備」は10箇所中8箇所が完成し、順調に進捗しております。また、KPI番号24「緊急通報装置の設置数」では、令和2年度実績で目標を上回り、早期に達成をしています。その他、KPI番号40「旭中央病院の基幹災害拠点病院としての機能維持」では、様々な災害を想定し、業務継続計画等の見直しについて検討を行い、非常時に対する備えを維持しています。

・個別のKPIの進捗状況は以下のとおりです。目標を70%以上達成しているものが多数を占めています。



各リスクシナリオへの対応状況（※詳細は「参考2」参照）

・各リスクシナリオを回避するための施策の進捗状況を測定するため、それぞれ複数のKPIを関連付けています。

例えば「1-1 地震による建物倒壊や火災発生による多数の死傷者の発生」というリスクシナリオを回避するために、

- 福祉避難所指定数
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 公共施設等総合管理計画の推進
- 公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画策定の推進
- 住宅用火災警報器の設置率（条例適合率）
- 市内小中学校の再編計画（個別施設計画の策定）
- 苦情相談件数（空き家）
- 住宅の耐震化率
- 耐震性貯水槽の設置率
- 消防団員の訓練参加率

という11個のKPIで施策の進捗状況を把握しています。

- ・リスクシナリオを回避するための施策の進捗状況について、全体の平均は以下のとおりでした。
- ・完了率は目標を達成(100%となった)したK P I の個数の割合、達成率は関連するK P I の目標値に対する達成割合の平均値です。

平均完了率 49.2% 平均達成率 68.0%

⇒K P I の達成状況は、達成率70%以上のものが多数となっておりますが、リスクシナリオ回避するための施策の進捗状況となりますと、平均達成率は68.0%となり少し減少します。これは、銚子連絡道路や清滝バイパス供用開始など、進捗に期間を要するKPIの達成率が0%となっているため、複数の施策の達成率に影響を与えていることが一つの要因です。

【参考1】

【令和2年度】重要業績指標(KPI)別進捗状況一覧表

KPI 番号	指標の内容	単位	基準値 (H30)	目標値	R2実績値	R2達成率
1	福祉避難所指定数	箇所	6	指定を推進	6	0%
2	指定避難所	箇所	28	適宜見直し	28	100%
3	指定緊急避難所	箇所	71	適宜見直し	71	100%
4	公共施設等総合管理計画の推進	-	実施	改定	推進	100%
5	公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画策定の推進	-	-	推進	策定	100%
6	住宅用火災警報器の設置率(条例適合率)	%	46.4	70.0	48.0	68.6%
7	市内小中学校の再編計画(個別施設計画の策定)	策定の有無	未策定	策定	未策定	0%
8	苦情相談件数(空き家)	件	99	減少	79	100%
9	住宅の耐震化率	%	76.9	95.0	77.0	81.1%
10	耐震性貯水槽の設置率	%	23.4	24.0	23.8	99%
11	消防団員の訓練参加率	%	58.3	60.0	0	0%
12	津波指定緊急避難場所数	箇所	25	適宜見直し	25	100%
13	自主防災組織の活動カバー率	%	61.2	83.2	61.5	73.9%
14	ハザードマップの対象世帯への配布率	%	100	100.0	100	100%
15	河川河口部の水門整備(市内10箇所)	箇所	2	11	9	80%
16	広域排水計画の策定	策定の有無	未策定	一部策定	一部策定	100%
17	洪水・内水ハザードマップの策定の有無	策定の有無	未策定	策定	未策定	0%
18	民生委員児童委員の定数充足率	%	99.3	100.0	99.3	99.3%
19	飯岡海上連絡道三川蛇園線(土砂災害避難道路)の供用開始延長	km	0.6	2.3	1.3	56.5%
20	土砂災害警戒区域の指定	指定完了	指定完了	適宜見直し	指定完了	100%
21	老人クラブ会員数	人	1,744	1,900	1,683	88.6%
22	生涯学習講座受講者数	人	2,016	2,100	1,128	53.7%
23	市民文化活動の年間観客数	人	12,726	14,000	1,487	10.6%
24	緊急通報装置の設置数	台	227	258	262	100%
25	外国人向けの情報伝達手段の数	種類	3	随時検証と見直し	3	100%
26	防災情報の伝達手段の数	種類	7	随時検証と見直し	7	100%
27	防災教育講座実施回数	回	5	10	4	40%

【参考1】

【令和2年度】重要業績指標(KPI)別進捗状況一覧表

KPI 番号	指標の内容	単位	基準値 (H30)	目標値	R2実績値	R2達成率
28	災害時応援協定等の締結数	団体数	38	締結の推進	46	100%
29	道路ストックの計画的な維持管理	実施	実施	実施	実施	100%
30	横根三川線（津波避難道路）の供用開始延長	km	0.2	1.3	0.25	19.2%
31	椎名内西足洗線（津波避難道路）の供用開始延長	km	0.3	3.0	1.23	41.0%
32	国・県への要望（国・県道の整備促進）	実施	実施	実施	実施	100%
33	受援計画の策定	策定の有無	未策定	策定	未策定	0%
34	備蓄充足率	%	100.9	計画的整備を継続	102.7	100%
35	他自治体との災害時における相互応援協定	団体数	2	締結の推進	2	100%
36	銚子連絡道路の整備(供用済延長)	km	6.0	早期延伸	6.0	0%
37	災害時における燃料供給等に関する協定数	団体数	3	5	3	60%
38	災害時における飲食料、生活物資の供給協力に関する協定数	団体数	7	10	8	80%
39	清滝バイパスの整備(供用延長)	km	0.0	早期完成	0.0	0%
40	旭中央病院の基幹災害拠点病院としての機能維持（業務継続計画(BCP)の策定と適宜見直し）	-	策定済	適宜見直し	見直しについて検討	100%
41	旭中央病院の紹介率	%	63.4	50.0	65.9	100%
42	旭中央病院の逆紹介率	%	92.7	70.0	98.5	100%
43	旭中央病院の災害対応訓練の数	回/年	1	1回以上（内容の充実）	1回以上（内容の充実）	100%
44	かかりつけ医の普及・啓発	推進	推進	推進	推進	100%
45	環境基準に達している箇所割合（市内河川16ヶ所）	%	50.0	100	37.5	37.5%
46	救急講習年間参加者数	人	1,869	1,930	0	0.0%
47	予防接種法に基づく予防接種ワクチンの接種率（麻しん・風しん）	%	第1期96.1 第2期93.4	95.0	第1期99.5 第2期	100%
48	消毒液やビニール手袋等の衛生用品の計画的な備蓄	在庫確認を実施	在庫確認を実施	在庫確認を実施	在庫確認を実施	100%
49	下水道業務継続計画（BCP）	-	策定済	有効性・実効性の随時検証	実施	100%
50	下水道の耐震化率	一部を除き適合	一部を除き適合	着実な管理	着実な管理	100%
51	電力復旧にかかる連携体制の推進	連携体制の有無	無	連携体制を整備	有	100%
52	可搬型発動発電機の所有数、信号機滅灯時の協力連携体制の維持	-	2台	協力体制、融通体制の整備	6台	100%
53	旭市業務継続計画（BCP）	-	策定済	有効性・実効性の随時検証	策定済	100%
54	太陽光発電を設置している公共施設の数	施設数	5	導入の推進	5	0%
55	農業産出額	億円	582	590	490	83.1%
56	認定農業者数	経営体	790	800	793	99.1%

【令和2年度】重要業績指標(KPI)別進捗状況一覧表

KPI 番号	指標の内容	単位	基準値 (H30)	目標値	R2実績値	R2達成率
57	漁獲量	t	11,530	17,500	1,270	7.3%
58	南堀之内バイパスの供用開始延長	km	0.5	1.1	0.5	45.5%
59	緊急輸送道路の指定	路線数	7	必要に応じて追加	7	100%
60	旭中央病院アクセス道の供用開始延長	km	0.9	3.2	0.9	28%
61	道路舗装率(市道)	%	70.8	76.0	70.8	93.2%
62	道路改良率(市道)	%	68.4	74.0	68.4	92.4%
63	水道基幹管路の耐震化率	%	8.3	増加	8.3	0%
64	配水池間の相互融通	-	-	推進	-	0%
65	業務継続計画(水道・下水道)	-	策定済	有効性・実効性の随時検証	有効性・実効性の随時検証	100%
66	合併浄化槽への転換件数	転換件数	4,064	4,173	4,139	99%
67	旭市橋梁長寿命化修繕計画の見直し	-	実施	実施	実施	100%
68	消費拡大の推進と災害時の積極的な情報開示体制の整備	-	推進	推進	推進	100%
69	宿泊者数	万人	11.0	13	7.3	56.2%
70	観光客入込客数	万人	212.0	215	164	76.3%
71	交流人口(しおさいマラソン大会、向太陽杯、幽学の里で米作り交流)	人	7,226	7,400	0	0%
72	災害廃棄物処理計画の策定	-	未策定	策定	-	0%
73	建設業災害対策協力会における事業継続計画(BCP)策定	%	6	早期策定の推進	6	100%
74	大原幽学記念館の年間入館者数	人	4,774	6,200	5,307	85.6%
75	住民の区への加入率	%	61.8	61.8	60	97.1%
76	通いの場設立数	団体数	26	50.0	30	60%
77	文化財の保存・維持管理を適切に行うため文化財所有者等への補助金交付	-	実施	実施	実施	100%
	平均達成率					70.3%

【令和2年度】リスクシナリオ別進捗状況一覧表

項目番号	回避すべき最悪の事態（リスクシナリオ） （下線付きは重点項目）	関連KPI数 （①）	達成済KPI数 （②）	完了率 （②/①）	達成率 （関連KPIの進捗平均）
1-1	地震による建物倒壊や火災発生による多数の死傷者の発生	11	5	45.5%	68.1%
1-2	広域にわたる大規模津波の発生及び河川等開口部からの津波流入による多数の死者の発生	4	2	50.0%	88.5%
1-3	異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	2	1	50%	50%
1-4	大規模な土砂災害等による多数の死傷者の発生	5	2	40.0%	85.9%
1-5	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生	9	3	33.3%	74.0%
1-6	避難路における通行不能	7	3	42.9%	71.1%
2-1	被災地域での食料・飲料水等、生命にかかわる物資供給の長期停止	7	5	71.4%	71.4%
2-2	想定を超える大量かつ長期の避難者への食料・飲料水等の供給不足	8	3	37.5%	55.0%
2-3	旭中央病院の医療機能の麻痺	5	5	100%	100%
2-4	被災地域における疫病・感染症等の大規模発生	7	4	57.1%	62.5%
3-1	信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	2	2	100%	100%
3-2	市役所本庁舎の倒壊等による災害対策機能の停止、行政機能の大幅な低下	3	2	66.7%	66.7%
4-1	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	3	2	66.7%	66.7%
4-2	防災無線等情報伝達の中断等により災害情報が伝達できない事態	3	3	100%	100%
5-1	サプライチェーンの寸断等による企業等の生産力低下による地域間競争力の低下	8	2	25.0%	54.4%
5-2	主要幹線道路や鉄道が分断する等、基幹交通ネットワークの機能停止	8	3	37.5%	64.2%
5-3	食料等の安定供給の停滞	9	3	33.3%	59.4%
6-1	ライフライン（電気・ガス・上下水道等）の長期間にわたる供給停止	5	2	40.0%	59.8%
6-2	地域交通ネットワークが分断する事態	10	4	40.0%	65.9%
7-1	市街地での大規模火災の発生	4	0	0.0%	60.4%
7-2	沿線・沿道の建物倒壊による直接的な被害及び交通麻痺	5	1	20.0%	48.3%
7-3	防災施設等の損壊・機能不全による二次災害の発生	2	2	100%	100%
7-4	風評被害等による市内経済等への甚大な影響	4	1	25.0%	58.1%
8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態	2	0	0.0%	0.0%
8-2	道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態	3	2	66.7%	66.7%
8-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態	8	1	12.5%	71.2%
8-4	広域地盤沈下、液状化等による広域・長期にわたる浸水被害の発生により復旧・復興が大幅に遅れる事態	3	2	67%	67%
合計・平均達成率		147	65	49.2%	68.0%